

## 竜巻注意情報 XML の解説

### 1. 全体構成

#### Report

- └ Control 管理部
- └ Head ヘッダ部
- └ Body 内容部

## 2. 各部の構成と内容

### (1) 管理部

#### Control

- └ Title 情報名称
- └ DateTime 発表時刻
- └ Status 運用種別
- └ EditorialOffice 編集官署名
- └ PublishingOffice 発表官署名

タグ	解説
Title	情報名称。“竜巻注意情報”または“竜巻注意情報（目撃情報付き）”と記述。
DateTime	発表時刻。“2010-08-13T01:46:00Z”のように協定世界時で記述
Status	運用種別。“通常”“訓練”“試験”のいずれかを記述。“訓練”“試験”は正規の情報として利用してはならないことを示す。
EditorialOffice	編集官署名。“気象庁本庁”“大阪管区气象台”のように記述。
PublishingOffice	発表官署名。“気象庁”“大阪管区气象台”のように記述。

## (2) ヘッダ部

### Head

- └ Title 標題
- └ ReportDateTime 発表時刻
- └ TargetDateTime 基点時刻
- └ ValidDateTime 失効時刻
- └ EventID 識別情報
- └ InfoType 情報形態
- └ Serial 情報番号
- └ InfoKind スキーマの運用種別情報
- └ InfoKindVersion スキーマの運用種別情報のバージョン
- └ Headline 見出し要素
  - └ Text 竜巻注意情報の見出し文及び注意事項を記述
  - └ Information 対象地域情報
    - └ Item 対象地域情報要素
      - └ Kind 情報種別要素
        - └ Name 情報名
        - └ Code コード
        - └ Condition
    - └ Areas 対象地域
      - └ Area 対象地域要素
        - └ Name 地域名
        - └ Code 地域番号

タグ	解説
Title	標題。“〇〇竜巻注意情報”（〇〇は対象地域に応じた名称。“十勝地方”“東京都”“東京都（伊豆諸島）”“鹿児島県（奄美地方を除く）”など）と記述。
ReportDateTime	発表時刻。“2010-08-13T10:46:00+09:00”のように日本標準時で記述。
TargetDateTime	基点時刻。“2010-08-13T10:46:00+09:00”のように日本標準時で記述。
ValidDateTime	失効時刻。“2010-08-13T11:50:00+09:00”のように日本標準時で記述。
EventID	識別情報。何も記述しない。（空タグ）
InfoType	情報形態。“発表”“訂正”のいずれかを記述。
Serial	情報番号。
InfoKind	スキーマの運用種別情報。“竜巻注意情報”と記述。
InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョン。Control/Title=”竜巻注意情報”の場合、バージョン番号は“1.0_0”。Control/Title=”竜巻注意情報（目撃情報付き）”の場合は“1.1_0”。
Headline	見出し要素。
└ Text	竜巻注意情報の見出し文及び注意事項を記述。
└ Information	対象地域情報。属性 type は、“竜巻注意情報（発表細分）”、“竜巻注意情報（一次細分区域等）”“竜巻注意情報（市町村等をまとめた地域等）”“竜巻注意情報（市町村等）”“竜巻注意情報（目撃情報あり）”。【注】
└ Item	対象地域情報要素。
└└ Kind	情報種別要素。
└└└ Name	情報名“竜巻注意情報”と記述。
└└└ Code	コード“1”と記述。
└└└ Condition	“発表”と記述。
└└ Areas	対象地域。属性 codeType は“気象情報／府県予報区・細分区域等”、“気象・地震・火山情報／市町村等”。
└└└ Area	対象地域要素。
└└└ Name	地域名。
└└└ Code	地域番号。

【注】Information[@type="竜巻注意情報（目撃情報あり）"]部について

- ・Control/Title="竜巻注意情報（目撃情報付き）" の場合のみ記載する。目撃情報を活用した竜巻注意情報が発表されていない場合は省略する。
- ・目撃情報から竜巻などの激しい突風が発生したとみられる地域名（発表細分、一次細分区域等、市町村等をまとめた地域等、市町村等）を記載する。

（目撃情報から茨城県の南部において竜巻などの激しい突風が発生したとみられる場合）

```
<Information type="竜巻注意情報（目撃情報あり）">
  <Item>
    <Kind>
      <Name>竜巻注意情報</Name>
      <Code>1</Code>
      <Condition>発表</Condition>
    </Kind>
    <Areas codeType="気象情報／府県予報区・細分区域等">
      <Area>
        <Name>南部</Name>
        <Code>080020</Code>
      </Area>
    </Areas>
  </Item>
  ←複数の地域の場合は Item 部がここに追加される
</Information>
```

(3)内容部

Body

- └ Warning 地域ごとの情報
  - └ Item 情報要素
    - └ Kind 情報種別要素
      - └ Name 情報名
      - └ Code コード
      - └ Status 発表状況
    - └ Area 対象地域
      - └ Name 地域名
      - └ Code 地域番号

タグ	解説
Warning	地域ごとの情報。属性 type は“竜巻注意情報（発表細分）”“竜巻注意情報（一次細分区域等）” “竜巻注意情報（市町村等をまとめた地域等）”“竜巻注意情報（市町村等）”。
└ Item	情報要素。
└ Kind	情報種別要素。
└ Name	情報名。“竜巻注意情報”“なし”のいずれかを記述。
└ Code	コード。“1”“0”のいずれかを記述。
└ Status	発表状況。“発表”“なし”のいずれかを記述。
└ Area	対象地域。
└ Name	地域名。
└ Code	地域番号。